大津市立真野中学校

令和6年度　我が校の学ぶ力向上策

【市町　目標】
〇新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校　目標】
〇個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業づくり　－学び合いとICTを活用した学習活動を通して－

【現状と課題】
〇視点１「子どもが学びを実感する授業づくり」を目指し、「読み解く力」の視点を踏まえ、協働的な学び（学び合い）の推進やICTおよびデジタル教材等の効果的な活用を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善を継続させる必要がある。
〇視点２　人権教育・道徳教育の充実を図るとともに、「生徒指導の3機能（自己存在感を高める・自己決定の場をつくる・共感的であたたかな人間関係を育成する）」を意識し、学びに向かう学習集団づくりに取り組む必要がある。
〇視点３　若手教員の育成、中堅教員のリーダーとしての役割を明確にするために校内OJT組織を中心に、教員相互の指導力向上に努める必要がある。また、家庭・地域との協働により、学校教育環境の整備に取り組む必要がある。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況　90%以上→A　70%以上90%未満→B　70%未満→C　　時期→1回目：9月　2回目：2月】

【視点１】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①子ども一人ひとりの学びの状況に応じた、個別最適な支援に努める。 ②仲間と協働して課題解決に取り組む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。 ③タブレット端末を効果的に活用した教育を推進する。	・協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用を含む）【市学校教育評価】		
	・授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。【児童生徒質問紙】		
	・コンピューターやタブレットなどのICT機器を使うことは，学習の役に立つと思いますか【（児童生徒向け）学びのアンケート（県）】		

【視点２】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①「生徒指導の3機能」を意識し、あたたかな人間関係、支持的風土を育てる学級・学年集団づくりを実践する。 ②人権教育・道徳教育の充実を図り、子どもの個性や多様性を認め、かけがえのない存在として互いを尊重する教育を推進する。	・支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践【市学校教育評価】		
	・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか【児童生徒質問紙】		

【視点３】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①校内のOJT組織の充実を図り、教員相互の指導力向上を目指す。 ②学校・家庭・地域の協働の充実を図り、子どもを育てる環境づくりを推進する。	・教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上【市学校教育評価】		
	・保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用【市学校教育評価】		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等

①4月当初の職員会議において校長の学校経営方針や研究主任主任の「今年度の校内研究」の提案を通じて「学ぶ力向上」に向けた手立てや時期等について共通理解を図った。
②授業研究会に講師を招聘して学期に1回、計画・実施する。
③年間を通して一人一回以上の授業公開を行う。
④授業研究会や研究推進委員会において、定期的に取り組みの検証を行い、改善点を教職員に具体的に示す。
⑤年度末に取り組みの検証を行い、改善点も含んだ次年度への提言を行う。

今年度の取組の成果と課題